

具体的取組	成田市リサイクルプラザの長寿命化
実施内容	平成 10 年 4 月の稼働開始から約 20 年が経過しており、安定的なごみ処理体制を確保していくため、成田市リサイクルプラザの長寿命化計画を策定する。
取組内容・実績	平成 10 年 4 月の運用開始から 20 年以上経過し、劣化が目立つ本施設について、安定的なごみ処理体制を確保していくための長寿命化計画を策定した。 本計画は、施設の現況、運転管理実績等の調査及び維持管理、設備・装置等の評価を行い、今後の施設運営・整備に関する改善策及び整備方針について検討し、長寿命化工事の内容、整備スケジュールの計画・資料等の作成を行うものである。平成 30 年度に長寿命化工事の内容検討を行い、令和 2 年度に計画を策定した。
取組の成果・評価	コンサル、メーカーの業務範囲を調整し、長寿命化計画を業務委託により策定した。
今後の課題・方針	長寿命化計画に基づき、令和 4 年度に発注支援業務の入札が出来るよう、令和 3 年度は発注支援業務の予算の調整などを行い、入札の準備を進める。
担当課	クリーン推進課



写真：成田市リサイクルプラザ

具体的取組	成田富里いずみ清掃工場の安定稼働
実施内容	ごみ処理の要である成田富里いずみ清掃工場を、継続的に安定稼働させるため、機器の保守管理等を実施する。また今後、長期的な施設の整備計画を検討する。
取組内容・実績	1. 2炉運転日数 計画：290日 ・実績：276日 ※計画・実績は稼働実績表参照 2. ごみ処理量 計画：55,187t ・実績：52,501t ※計画は当初予算時積算のもの 3. ごみ搬入量 計画：55,187t（外部処理 5,043t を含まない） ※計画は当初予算ベース 実績：51,480t（外部処理 4,721t を含まない） 4. 定期点検整備 1号炉 計画：年3回72日（完全停止日数24日+24日+24日） 実績：年3回75日（完全停止日数24日+24日+27日） 2号炉 計画：年3回72日（完全停止日数24日+24日+24日） 実績：年3回81日（完全停止日数27日+27日+27日） ※1号炉、2号炉ともに計画日数についてはR2運転計画概要より。
取組の成果・評価	令和2年度の運転日数は、例年実施のものに加え、稼働から1度も補修していない箇所（中間シャフト部）の築炉工事であったため、計画よりも1号炉では3日、2号炉では9日多くかかっている。なお、ごみ搬入量は計画よりも新型コロナウイルス感染症の影響による事業系ごみの減少に伴い、減っているが、2炉停止に伴う定期修繕・点検期間中は、ごみピット貯留量を超過してしまうため、外部処理を行っている。全体的な評価としては、定期点検整備を計画どおり実施し、施設の安定稼働を図ることができた。
今後の課題・方針	来年度以降、ごみ搬入量の増加も見込まれることから、点検整備期間の確保、また、外部処理の算定などを運転維持管理会社等と綿密に打ち合わせを行っていく。 平成30年度実施の精密機能検査においても本施設の運転・維持管理状況は総じて良好と判断できるが、点検整備時の際、外部への委託処理を行うことが必須になっており、この委託を無くすためには、ごみの排出抑制による本市・富里市の施策が重要な課題となっている。今後の方針については、ごみ質の推移、設備の運転状況、機器使用年数等の実績を機器ごとに勘案して、経年劣化していく状況を十分に把握するとともに、毎年の整備・補修、機器の更新を着実に実施できるよう定期点検・整備を行うことが、本施設の安定稼働には重要である。また、稼働後9年ではあるが、今後の施設状況を勘案して、循環型社会形成推進交付金制度を利用した「廃棄物処理施設長寿命化計画」の策定を含め、今後の施設整備計画の策定を進めることも課題となっている。
担当課	クリーン推進課